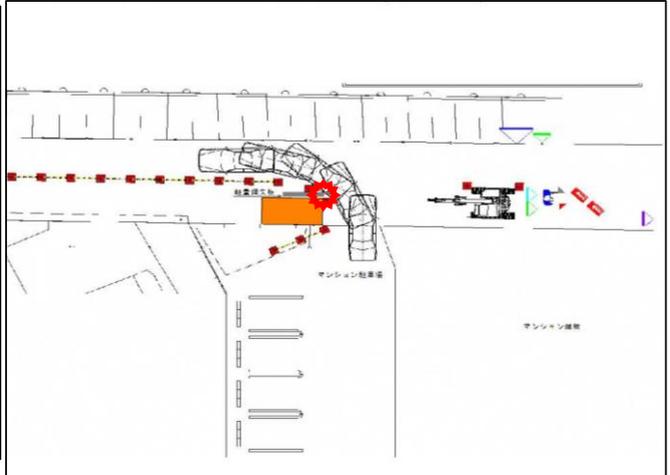
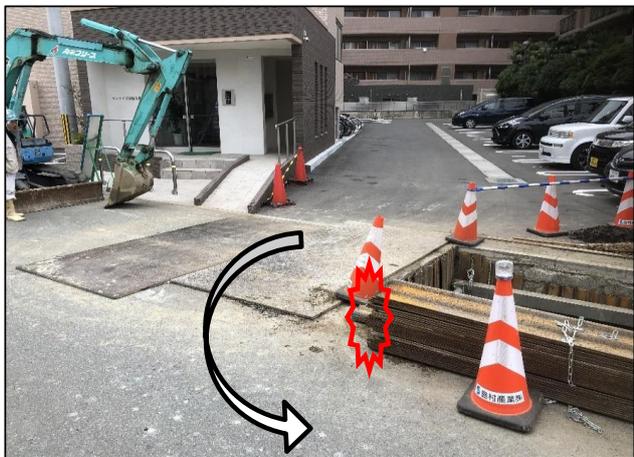


# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 元年 10月 1日(火曜日) 14時 30分			工事関係者区分	元請け
事故区分	車両・自転車等損傷	性別	女性	年齢	不明	業種区分	土木
被災程度	車両と工事資材の接触による車両損傷		事故レベル	I	休業見込日数	—	
工事概要	汚水管移設工事						
事故概要	沿道マンション出入口付近の占用帯内に軽量鋼矢板を仮置きしていたところ、当該マンション住民の車両(被災車両)が左折により道路に出ようとして軽量鋼矢板に接触し当該車両が損傷(助手席側後方に傷)した。						
事故原因	仮置きしていた軽量鋼矢板が完全にコーン等で囲われていなかったため被災車両運転者から視認しづらかったこと、運転者に交通誘導員が右折での出車をお願いしたが車両の窓が閉まっていたため運転者が声掛けに気付かなかったことから、左折により道路に出ようとした被災車両が軽量鋼矢板に接触し損傷したものであり、工事用資材の仮置き方法等に不備があった。						
改善策	工事範囲及び資材仮置き範囲をカラーコーン、バーで囲い境界明示を行った。一般車両・通行人と近接する箇所については、道路使用許可条件に合わせた交通誘導警備員を配置し事故の再発防止に努めた。						

## 事故状況図



## 改善状況図

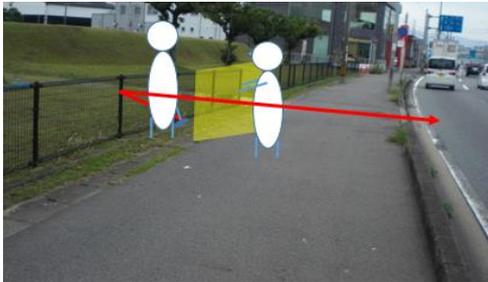


工事範囲及び資材仮置き範囲をカラーコーン、バーで囲い境界明示を行った。

# 公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和元年10月1日(火曜日)7時40分頃			工事関係者区分	元請け
事故区分	両・自転車等損	性別	男性	年齢	70	業種区分	土木
被災程度	車両左後部窓ガラス破損			事故レベル	I	休業見込日数	-
工事概要	公園の除草						
事故概要	公園外周フェンス下部の除草を刈払機により行っていたところ、刈払機により飛ばされた石が前面道路に信号待ちで停車していた車両(被災車両)の左側後方窓ガラスに当たり、これを破損させたもの。						
事故原因	草刈りを行う際、防護ネットを石等が飛ばないように配置していたが、石が一度公園フェンスに当たって跳ね返り、予期せぬ方向に飛んだことが原因である。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路等、特に注意が必要な場所については、草刈り作業員を囲うように、防護ネットを配置した</li> <li>・フェンス等飛び石の跳ね返りが想定される場所を刈払機を用いて除草する際には、構造物にシートをかけ、跳ね返りを防止した</li> <li>・事故の再発を防ぐため、組織内会議等にて事故情報を共有し、再発防止に努めた</li> </ul>						

## 事故状況図



左後部窓破損



破損ガラスの状況

フェンスの外側から草刈りをし、歩道上でネットを張っていた。  
石が公園フェンスに当たって跳ね返り、車道側へ飛んだ。

## 改善状況図



作業の様子

(防護ネットで作業員を囲むみ、飛び石の跳ね返り防止のため、柵にネットを被せる)

# 公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和 元年 10月 1日(火曜日) 11時 20分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	工具等取扱	性別	男性	年齢	18	業種区分	設備
被災程度	鼻骨骨折			事故レベル	I	休業見込日数	0
工事概要	鉄道車両改修工事						
事故概要	鉄道車両の連結部を切り離す作業中、切り離し時に連結器が下がらないよう仮置きライナーを連結器下部に挿入するため作業者がパールを用いて連結器を上げようとしたところパールが外れ、パールがライナーを挿入していた別の作業者(被災者)の顔面を強打して負傷(鼻骨骨折)したものの。						
事故原因	加害側作業者が不安定な位置でパールを使用したうえ、パールの掛かりが浅く、支持点がずれたため、パールを振り下ろす状況になったもの。さらに、その振り下ろし先に被害側作業者が共同作業をしていたため、その顔面を強打することに至ったもの。						
改善策	再発防止教育にて、周辺作業者等に対し危険を及ぼす可能性のある器具使用については十分な安全確認を行ったうえ慎重に行うよう徹底した。また、不安定位置でのパール使用を減らす工夫として、ライナーを加工し、同種事故の再発を防止した。						

## 事故状況図



鉄道車両の連結部(作業場所の状況)

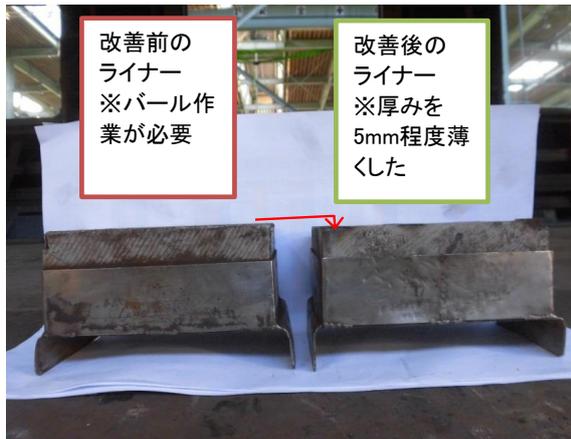


ライナー挿入の作業者

パールが外れ、顔面を強打

事故発生時の再現状況

## 改善状況図



改善前のライナー  
※パール作業が必要

改善後のライナー  
※厚みを5mm程度薄くした

挿入するライナーを加工



ライナーを挿入した状況

パールを使用せず作業が可能となった

# 公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和元年 10月 8日(火曜日) 8時50分頃			工事関係者区分	二次下請
事故区分	工具等取扱	性別	男性	年齢	42	業種区分	土木
被災程度	右橈骨遠位端骨折, 右肘内側側副靭帯損傷			事故レベル	I	休業見込日数	0日
工事概要	地下鉄七隈線延伸工事						
事故概要	被災者は、B4F東行線坑内インバートコンクリート打設前の配管内水送り作業において、筒先ホースを押さえていたが、筒先ホースが振れて押さえていた右腕を痛めた						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先端ホースとのジョイント部が狭くなっており、スポンジが通過しにくい構造であった。(スポンジがジョイント部で引っ掛かり、配管内の圧力が高くなりホースが振れた)</li> <li>・先端ホースの固定を人力のみで行った。</li> </ul>						
改善策	インバートコンクリート作業前の水およびモルタルを先送りする作業において <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポンジを通過しやすくするため、先端ホースの呼び径を 5B (接続部内径117mm)から6B(接続部内径143.2mm)に変更する。</li> <li>・スポンジが排出されるまでは、6B先端ホースが跳ねないように、レバーブロックなどでホース先端および途中を固定し、人払いする。</li> </ul> また、ホース先端の圧送合図者は地上との通信内容(ポンプのON、OFF)を、坑内作業者にわかるように復唱し、人払いを確実にを行う。						

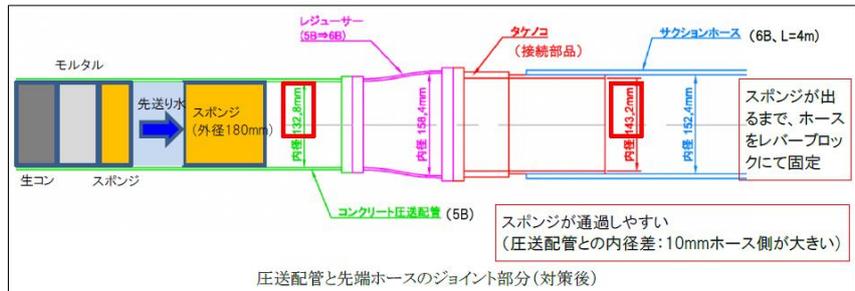
## 事故状況図



事故発生状況再現写真

## 改善状況図

**改善状況①**  
(スポンジが通過しやすい構造とする)



圧送配管と先端ホースのジョイント部分(対策後)

**改善状況②**  
(先端ホースが跳ねないように、ホース先端及び途中を固定し、人払いする)



先端 ホース固定状況(全体)

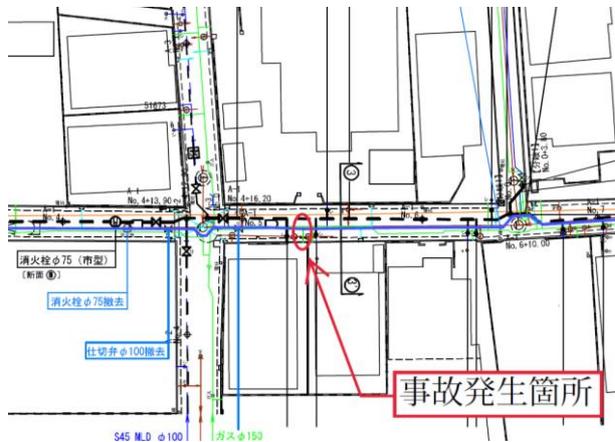
先端ホース固定状況(ホース先端)

先端ホース固定状況(ホース途中)

# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年10月15日(火曜日)11時40分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	ガス引込管(φ30mm)を破損			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	—
工事概要	配水管布設工事						
事故概要	既設管撤去のため、バックホウで掘削作業中にガス引込管(φ30mm)を破損したものの。						
事故原因	事前にガス会社との協議及び現地立会等の事故防止対策を行っていたが、事故発生箇所における掘削時には、人力掘削による埋設物の位置確認を十分に行っていなかったことからガス引込管を破損させたものである。						
改善策	安全訓練を行い、再発防止として下記のことを実施する。 ・地下埋設物のマーキング箇所の入念な確認を行う。 ・地下埋設物付近を掘削する際は、人力にて慎重に掘削し、埋設物の一部だけでなく全部の確認を行う。						

## 事故状況図



## 改善状況図

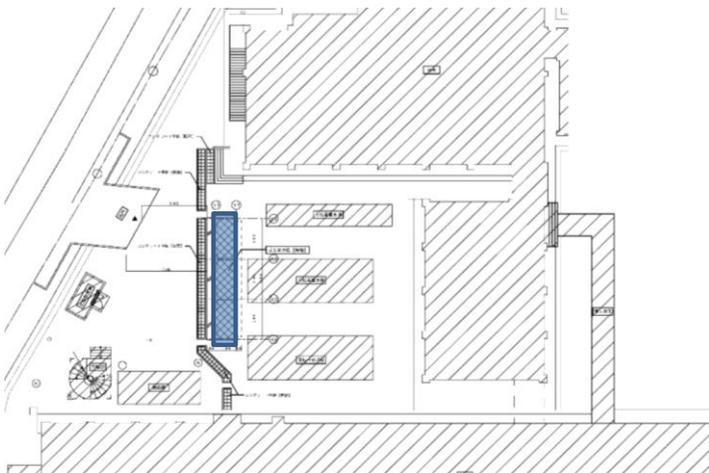


再発防止に向けた安全訓練を実施

# 事故・改善報告書

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年10月12日(土曜日) 11時10分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	建築
被災程度	埋設管の破断			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事監督課	財政局アセットマネジメント推進部施設建設課						
工事概要	RC造平屋建建築工事						
事故概要	RC造平屋建建築工事における地盤改良杭の施工中に既設埋設管を破断した。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表示杭の確認が不十分であった。</li> <li>・関連業者への確認が不十分であった。</li> </ul>						
改善策	受注者				福岡市		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工前の事前確認を関連業者への聞き取りも含めて確実に実施する。</li> </ul>				-		

## 事故状況図



## 改善状況図



関係業者との工程協議を確実に実施

工事名	五洋中学校校舎増築その他工事
工種	打合せ(安全協議会)
位 置	仮設事務所
参加者	山田
	塚田
	高野

# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年 10月 12日(土曜日) 9時 30分			工事関係者区分	元請け
事故区分	その他	性別		年齢	-	業種区分	土木
被災程度	照明灯の破損			事故レベル	I	休業見込日数	-
工事概要	公園のごみを回収・搬出するもの。						
事故概要	福岡市内公園にて、ごみの搬出作業の為、公園内に後退でパッカー車を進入する際、公園照明灯と4tパッカー車左後方のストップランプ部分を接触させ、公園灯を倒壊させた。						
事故原因	しかしながら、パッカー車の運転手の注意が右側(運転席側)にあった石碑に集中し、後方にあった公園灯に気付かず後進を続けたことから確認者が停車を口頭指示したが、台風による強風を避けるために運転席の窓が閉められていたため運転手が指示に気付かず、公園灯に接触し折損・倒壊させたものであり、パッカー車によるごみ収集作業の安全管理が不十分であった。						
改善策	パッカー車によるごみ収集作業において、パッカー車を公園内等に進入させる際、できるだけ前進にて進入させること、またやむを得ず後進にて進入させる場合は確認者による誘導を行い、運転手はこれに従うことを徹底させること						

## 事故状況図



車両進入状況



車両進入経路



事故状況

## 改善状況図



車両進入経路に誘導員を配置し前進にて進入させる。

# 事故・改善報告書

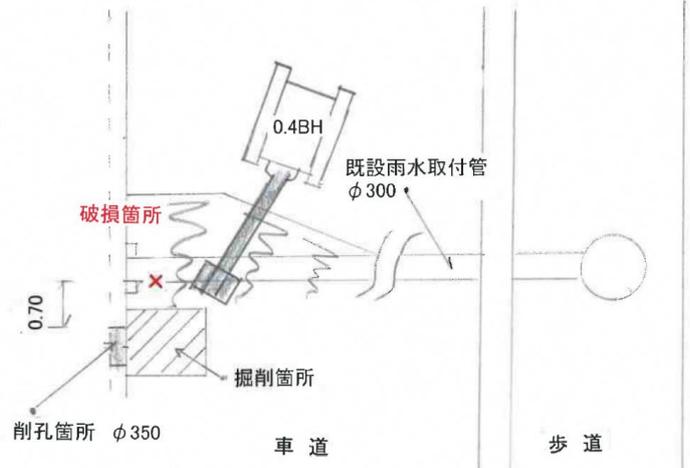
事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年10月16日(水曜日) 10時30分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	雨水取付管(Φ300)の破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事監督課	港湾空港局港湾建設部東部建設課						
工事概要	車道舗装工事						
事故概要	車道中央部に設置されていた雨水ボックスに、車道側溝からの雨水取付管を取り付けるため、バックホウ(0.4m <sup>3</sup> )による掘削作業をしていたときに、既存の雨水取付管(Φ300)を破損させたもの。						
事故原因	作業員の不注意, 地下埋設物の確認不十分						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業手順の改善, 徹底 (地下埋設物調査, 試掘, 合図者の配置等の徹底)</li> <li>作業員全員の安全意識向上 (KY活動に加え, 個別の安全ミーティング, 勉強会(安全訓練時)の実施)</li> </ul>						

## 事故状況図

<事故状況写真>



BOXカルバート 1400×1400



## 改善状況図

<作業手順の改善, 徹底>



作業手順の現場事務所掲示

<作業員全員の安全意識向上>



安全ミーティングの実施

# 公共工事等事故情報

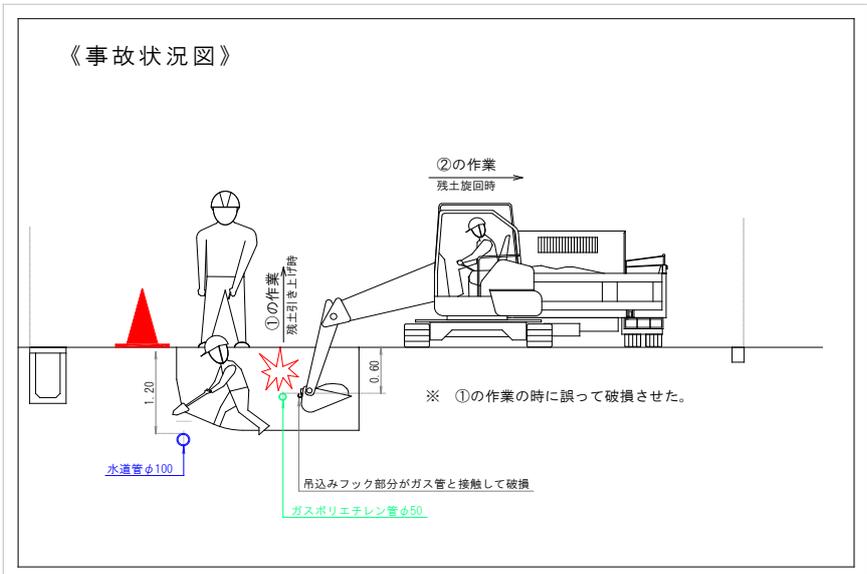
事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年10月17日(木曜日)14時 40分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	ガス管(φ50mm)の破損			事故レベル	I	休業見込日数	
工事概要	経年老朽化による水道管の更新工事						
事故概要	給水管を布設するため、人力掘削した土砂をバックホウでダンプトラックに積込もうとした際、バックホウの吊り込みフックが近接するガス管(φ50mm)と接触し、破損させた。						
事故原因	合図者がバックホウの吊り込みフックとガス管(φ50mm)が接触する前に、運転者へ制止を合図したが、運転者がこの合図を見落としたこと。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設機械の運転者は、合図者の合図を確認後、その合図に従って操作することを徹底する。</li> <li>・社内で事故報告後、安全教育を実施し、安全管理の徹底と各種基準の遵守を行うよう周知した。</li> </ul>						

## 事故状況図

破損箇所



《事故状況図》



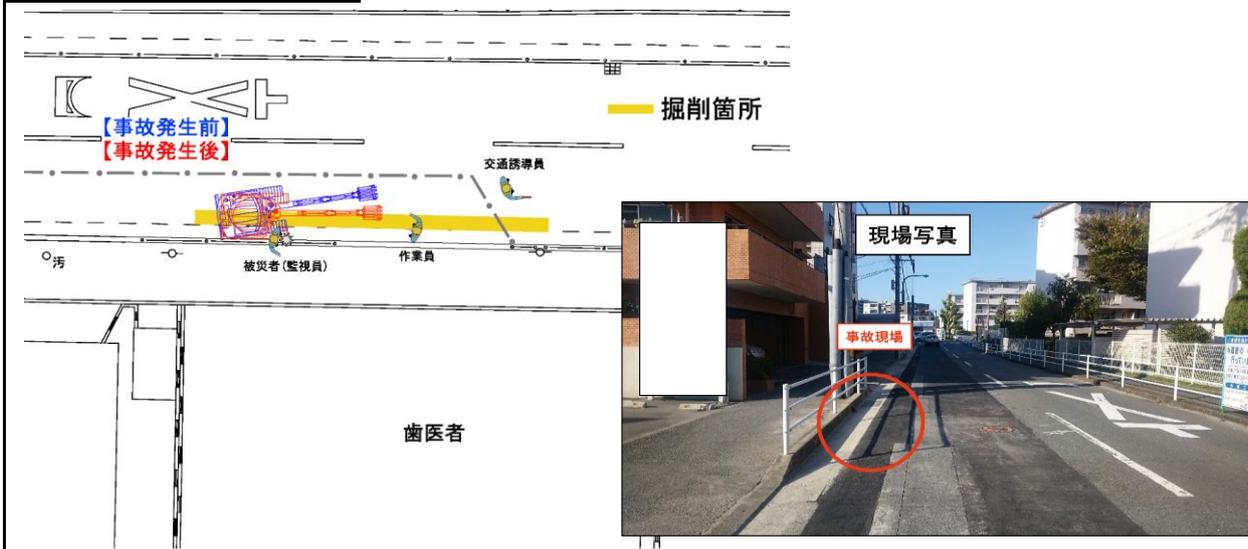
## 改善状況図



# 公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和元年10月19日(土曜日) 11時20分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	挟まれ・巻き込まれ	性別	男性	年齢	41	業種区分	土木
被災程度	左足すね 及び ひざ骨折			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	3ヵ月
工事概要	老朽化した管の取替え工事(管布設替え)						
事故概要	作業員(原因者)がバックホウを後進させたところ監視員(被災者)が当該バックホウのキャタピラーと歩車道境界ブロックの間に左足を挟まれて受傷した。 なお、正規の運転者(有資格者)は休憩のため離席しており、運転した作業員(原因者)は無資格者であった。						
事故原因	バックホウのアームが作業の支障となったため原因者(無資格者)に対してアームを旋回するよう別の作業員が命じたが原因者が指示を誤認してバックホウを後進させたところ、バックホウの近傍にいた被災者がバックホウとは反対側を向いてこれを避けることができなかったことからキャタピラーと歩車道境界ブロックに被災者の足が挟まれたもの。 原因者が無資格者であったことをバックホウの操作指示を行ったものが把握しておらず、また原因者は無資格者でありながら指示に従い運転したこと、作業範囲内に人員(監視員)がいるにも関わらずバックホウを動かしたこと。						
改善策	①発注者、受注者及び関連会社で安全会議を開催し、重機作業範囲内での運転者と監視員の合図による作業の徹底等を確認した。 ②有資格者の名簿を常備し、始業前のKY活動時に有資格者による作業を確認して無資格者には作業をさせないよう徹底した。 ③重機の鍵を落下・盗難防止コードで運転者を繋げて作業し、鍵を抜かなければ離席できないようにした。						

## 事故状況図



## 改善状況図



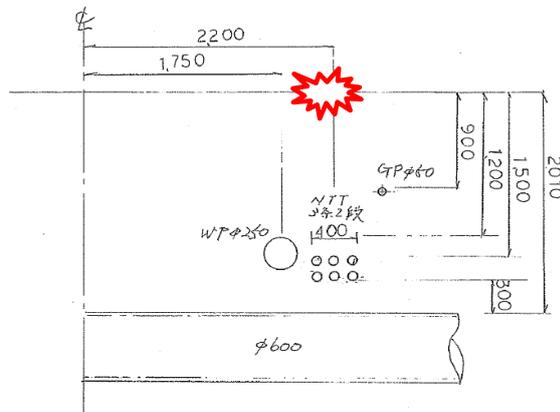
# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 元年 10月 24日(木曜日) 16時30分			工事関係者区分	元請け
事故区分	車両・自転車等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	車両左前輪損傷(ホイールに傷)			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	管布設工事						
事故概要	仮復旧中の舗装面が下がり、この上を通行した普通乗用車の左前輪損傷(ホイールに傷)を与えた。						
事故原因	管を布設後、再生砂で埋め戻す際、堀山内に露出した地下埋設物(NTT3条2段,水道管φ250,ガス管φ50)の周辺において、機械による転圧ができず人力で行ったが、埋め戻し材料の締固めが不十分であったことから、前日の降雨による圧密が通行車両の荷重により促進され、仮復旧中の舗装面が下がったもの。						
改善策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 既設地下埋設物と新設管が輻輳している個所等の埋め戻しについては、良質な埋め戻し材を使用し、必要に応じて突棒等で締め固め度合を確認しながら十分な転圧を行う。</li> <li>2. 施工後の路面の監視については、工事範囲の仮復旧箇所の状況を定期的に巡視するなど、監視を適切に行うことにより事故の未然防止に努める。</li> <li>3. 再発防止のためのKY活動時において、各作業員にリスク管理を行いそれを遵守するように周知徹底する。</li> </ol>						

## 事故状況図



陥没箇所断面図



## 改善状況図

改善後の復旧写真



KY活動



# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年10月30日(火曜日) 17時00分			工事関係者区分	
事故区分	自動車等	性別	男性	年齢	-	業種区分	建築
被災程度	損傷			事故レベル	I	休業見込日数	-
工事概要	屋外階段設置その他工事						
事故概要	作業員通勤車両の退場時において、方向転換のためにバック走行を行っていた際に停車していた一般車両のミラーに接触した。						
事故原因	・車両運転時の周囲確認が不足していた。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両運転時の周囲確認が不足していた。現場内において車両を後進させる際は後方確認等を十分行う。</li> <li>・第三者の財産への接近をできる限り避け接触事故等の発生が予想される場合には誘導員を配置しその誘導に従うよう運転者全員に徹底させる。</li> </ul>						

## 事故状況図



## 改善状況図

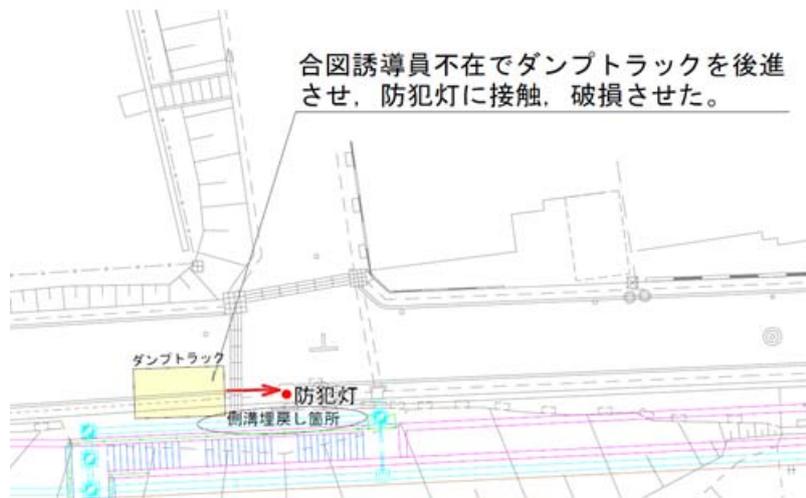


作業員への周知

# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年10月28日(月曜日)16時00分			工事関係者区分	元請け
事故区分	その他の物損	性別	/	年齢	/	業種区分	土木
被災程度	防犯灯の傾きと傷			事故レベル	I	休業見込日数	/
工事概要	側溝設置作業						
事故概要	側溝設置後の埋戻し作業のため、埋戻し材を積んだダンプトラックが後進中に防犯灯に接触し、破損させた。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンプトラック運転者が交代しており、付近の状況を十分把握せずに後進させたこと。</li> <li>・合図誘導員が別重機を誘導しており、不在時にダンプトラックを後進させたこと。</li> </ul>						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼、安全教育を行い、事故内容の報告、合図誘導員の指示に従って重機や車両の後進を行うことの指導を行った。</li> </ul>						

## 事故状況図



## 改善状況図



朝礼・安全教育の実施